

平成17年4月1日

各 位

神奈川県高座郡寒川町倉見3

新日鉱グループ

 日鉱金属加工株式会社

平成17年上期の金属加工製品の生産予定について

品 目	単 位	平成17年上期 生 産 予 定	平成16年下期 生 産 実 績 見 込	平成16年上期 生 産 実 績
伸 銅 品	t / 期 ( t / 月 )	20,100 ( 3,350 )	18,000 ( 3,000 )	20,802 ( 3,467 )
特 殊 鋼 製 品	t / 期 ( t / 月 )	4,500 ( 750 )	4,560 ( 760 )	5,424 ( 904 )
合 計	t / 期 ( t / 月 )	24,600 ( 4,100 )	22,560 ( 3,760 )	26,226 ( 4,371 )
( 参 考 ) 製品長さ計	万m / 期 ( 万m / 月 )	3,720 ( 620 )	2,880 ( 480 )	4,500 ( 750 )

【解説】

PC、移動体通信機器、デジタルカメラ等のIT分野については、16年下期からの最終製品の需要低迷による在庫調整がほぼ終了し、今後は緩やかに回復に向かうものと見込まれます。また、電気・電子機器の小型化、薄型化、軽量化が更に進んでいく中、それらに使用される端子・コネクタ等の電子部品には高強度、高屈曲性、高導電性がより求められてきており、当社の主力製品である圧延銅箔、C7025合金、りん青銅等の需要は回復後も堅調に推移すると見込まれます。更に、伸長著しい中国市場、あるいは堅調な自動車市場への更なる注力も計画しており、伸銅品については対前期比11%程の増産を計画いたしております。

特殊鋼製品については、電子銃用ステンレス、パソコンモニター用アンバー等のブラウン管関連材料は引き続き堅調に推移するものと見込まれ、前期並みの生産を計画しております。

この結果、金属加工製品全体では、対前期比9%増の24,600t/期の計画となりました。

以上

お問い合わせ先： 日鉱金属加工株式会社  
経營業務部（総務担当）矢澤  
：0467-75-0611